

Certified Data Centre Professional™ <含認定試験> (データセンター・プロフェッショナル認定コース)

HK258S

HP and EPI



コース概要

データセンターのファシリティ(施設)について、その基礎知識と用語を学習します。電源、空調、セキュリティ、立地と建物、SLAとOLA、消防設備など、データセンターの施設を設計/運用/管理する際に避けて通れない項目を分かりやすく解説します。データセンターだけでなく、企業内外の小規模～大規模サーバールームの管理/運用業務にも必須の内容です。
認定試験に合格すると、CDCP™: Certified Data Center Professional資格を得ることができます。

【CDCP™資格とは】

CDCP™は、全世界で有効なデータセンターファシリティについての、「偏りのない知識」を持っていることを証明する、ベンダーに依存しない国際資格です。認定資格保持者は全世界でおよそ10,000名(2011年6月現在)おり、データセンター関連業務に携わる者が持つ基本資格として広く知られています。海外では推奨資格としてCDCP™/CDCS™/CDCE™が転職サイトで取り上げられたり、入札の要件として提示されたりしています。
日本においては2009年から日本語コースを開始し、わずか2年で約600名の方に受講して頂いております。

スキル標準ユーザー協会によって研修と資格の有用性が認められており、ITスキル標準のスキルマップにも記載されています。

日本では、日本HP主催のコースのみ受講、受験可能です。有効期限は、3年です。期限切れの期日は、認定証の下の方に記載されます。

なお、有効期間内にCDCP™再試験を受験して合格するか、上位資格であるCDCS™を受講および受験して合格することで資格を更新できます。更新すると、有効期間は3年間延長されます。

前提条件

コンピュータの基礎知識を有する方。

受講対象者

- ・サーバの設置/運用/管理を担当される方
- ・企業内外の小規模～大規模サーバールームの設計/管理/運用を担当される方
- ・オフィス内にサーバを設置し、運用される方
- ・データセンターの省エネルギー化推進を担当される方
- ・データセンター関連サービスの営業を担当される方
- ・データセンター関連ビジネスにかかわるすべての方
- ・サーバールームの電源、熱、空調、消防対策、セキュリティ、クリーニングなどの問題に取り組むすべてのIT管理者の方

コースの目標

データセンターのファシリティについての全般的な知識を得ること。

コース日数

2日間(コースの最後にCDCP™認定試験があります)

コース価格

¥126,000 (税抜価格:¥120,000)

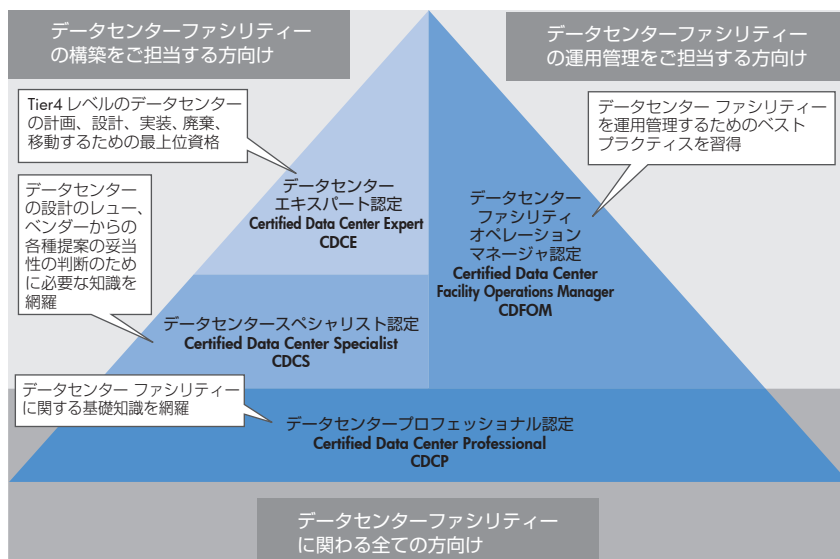
コース申し込み方法

オンラインでもお申し込みいただけます。HP教育サービスのwebサイト(<http://www.hp.com/jp/education>)で、ご希望のコースをお選びください。またFAXでもお申し込みいただけます。
上記WebサイトからFAX専用申し込み用紙をダウンロードしてください。
お申し込みの際はフリーダイヤル0120-130190で、空き状況をご確認の上お申し込みください。

その他

本コースは、EPIが全世界で実施しているCDCP™: Certified Data Centre Professionalコースを日本HPがご提供するものです。講義、テキスト、認定試験はすべて日本語です。

データセンター ファシリティ認定資格体系



Certified Data Centre Professional™ (データセンター・プロフェッショナル認定コース)

HK258S

章	主な内容	
レッスン1- データセンターの重要性	ダウンタイムとその重大性 データセンターと費用 データセンターの複雑性	データセンターのリスク要因 ダウンタイムの主な原因 データセンター障害の主な原因
レッスン2- データセンターにおける規格	データセンター規格 Tierレベル	データセンターで使われる規格 国際規格と各国規格
レッスン3- データセンターの建物立地条件と構造	場所選択の基準 データセンターとサポート設備	典型的な誤り
レッスン4- フリーアクセスフロアと吊り天井	フリーアクセスフロア フリーアクセスフロアの規格 荷重負荷率 フリーアクセスフロアのガイドライン	フリーアクセスフロアの接地 傾斜路 その他の考慮事項 吊り天井
レッスン5- 照明装置	照明の定義と測定単位 規格	照明器具と配置 非常灯
レッスン6- 電力設備	電源の品質 発電所から目的地まで データセンター内での電源冗長方式 無瞬断切替装置(STS)の役割 単相三線式の配電 分電盤内での分岐回路の振り分け 三相給電に単相負荷を接続する 適切な電源ケーブルルート サーバーラックへの分配 二重電源装置 電源装置可用性維持のための一般的な技法 データセンター内の配電	データセンターの接地 コモンモードノイズ 設置とニュートラルのボンディング データセンターの電力供給 アイソレーショントランス IP保護グレード 電力品質 表示電力と実電力消費 発電装置 UPSの技術 UPSに使うバッテリーの技術
レッスン7- 電磁界(EMF)	電磁スペクトル 電界と磁界 電磁界/電波障害はなぜ発生するか? 電磁界の集積回路(IC)への影響 磁界とネットワークケーブル	電磁界の生物学的な影響 電磁パルス(EMP) / 高高度電磁パルス(HEMP) デザイン段階での電磁界に関するベストプラクティス 遮蔽材を使った電磁界保護
レッスン8- 冷却(空調)設備	データセンターにおける冷却 冷却と信頼性への影響 コンフォートエアコンとプレジジョンエアコンの違い 顕熱比(SHR) 顕熱比とオペレーションコストへの影響 エアコンの基本原理解	トッフロアあるいはダウンフロア どのタイプのラックを使うか データセンターの冷却 開口フロアパネルと機器の設置 高密度冷却 冷却装置の一般的な問題点
レッスン9- 給水設備	データセンターにおける給水設備の重要性	予備給水
レッスン10- 拡張性のあるネットワーク基盤デザイン	ネットワークケーブルの論理的構成 ネットワークケーブルの属性 構内配線を使う 銅線ケーブルのカテゴリ ファイバーケーブル シングルモードとマルチモードの比較	ストレージ・エリア・ネットワーク(SAN) ネットワークの冗長性 ビル間接続 構内配線の検査と検証 ネットワーク監視 ネットワーク監視システムの必要機能
レッスン11- 消防対策と安全性	防火対策と安全性 データセンターにおける消火設備の必要条件 火災予兆探知設備 感知設備	消火設備 可搬式消火器 標識と安全性 法令要件/ベストプラクティス
レッスン12- データセンター監視	監視の目標 データセンター監視の必要条件 EMSとBMS リモート監視ソリューション	何を監視するか? 漏水検知 区域探知警報パネル 通知
レッスン13- セキュリティシステムとオペレーション におけるセキュリティと安全性	データセンターセキュリティ 物理セキュリティ ドア制御 データセンター内のセキュリティ 基盤セキュリティ	組織/プロセスセキュリティ セキュリティには継続した改善が必要である オペレーション上の安全性 火災時の安全性 必須標識
レッスン14- ラベル付けの方式	ラックの番号付けとラベル付け UPS、アイソレーショントランス、分電盤、プレーカーの ラベル付け	ネットワーク配線のラベル付け
レッスン15- ドキュメント/マニュアル	手順と規定	ドキュメント管理
レッスン16- クリーニング(清掃)	データセンターで使う電気掃除機 フリーアクセスフロアのクリーニング 機器のクリーニング	吊り天井の上のクリーニング コンピュータールームの一般的なルール
レッスン17- MTBF/MTTR/MTTF	MTTF/MTTR/MTBFの定義	信頼性と可用性
レッスン18- SLA、OLA、メンテナンス契約	SLAとOLA メンテナンス契約 サービスプロバイダの評価	メンテナンス契約の最低必要条件 メンテナンス契約とサービスレポート 保証

CDCP認定試験

その他の情報についてHP教育サービスの詳細については、<http://www.hp.com/jp/education>をご覧ください。

お問い合わせ・お申込はHP教育サービス受付へ

0120-130190 月～金 9:00～12:00/13:00～17:00(土・日、祝祭日、年末年始および5/1を除く)

0120-802357 (FAX24時間受付)

d11.cec@hp.com (e-mail)

HP教育サービスに関する情報は <http://www.hp.com/jp/education>

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

記載事項は2011年12月現在のものです。

本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。

© Copyright 2011 Hewlett-Packard Development Company, L.P.



日本ヒューレット・パカード株式会社
〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1